

チーム名	河野ゼミナール	大学・学部	帝京大学八王子キャンパス 経済学部	山梨ステージ 本選出場
プラン名称	COHASツーリズム ～芦川村へのインバウンド誘致～			
リーダー名	大久保 貴哉	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 (○) ①訪日外国人の誘客と滞在を促進する「観光まちづくりプラン」 () ②ミズベリングと連動した「観光まちづくりプラン」	クリエイティブ賞 受賞
指導教職員名	河野 正光教授			
メンバー名	鬼頭 健太 永田 千晴			

①問題定義

★訪日外国人観光客数は増加傾向にある。

訪日外国人 観光客数

年	観光客数(千人)
2014年	1088
2015年	1696

出典: 日本政府観光局(JNTO) (単位: 千人)

★**関東三市内で甲州市、山梨市では訪日外国人入込客数が増加しているが、笛吹市は減少している。**

★**下記から観光客が富士吉田市に流れてしまっていることが分かる。**

山梨県市町村別観光入込客数(実人数)

市町村	2014年	2015年
山梨市	1198	1307
甲州市	1997	2090
笛吹市	2423	2236
富士吉田市	4790	5023

出典: 2015年度山梨県観光入込客数調査結果 (単位: 千人)

②解決策

インバウンド客が富士山に寄ることを前提に笛吹市芦川村での**COHAS体験**をツアー形態で提案をする。

③どうして芦川村なのか

★92%の自然に囲まれた芦川村には日本特有の伝統的集落や風情があり、非日常的な空間であるため、古民家など日本の古き良き時代にタイムスリップしたかのような感覚を味わえる。

★標高1000mに位置する村で美しい富士山を別角度から味わえる。

★富士山から車で30分といった芦川村の地域創生を図るべく、既存施設を有効活用する。

④新規性

～Culture Of Health And Sustainability～

三方よしの新提案! ～「COHAS」～

日本食×自然 = Health
学び×遊び = Culture
既存施設活用×Health×Culture = **COHAS**

インバウンド客には古き良き日本の伝統的な文化を体験していただき、首都圏からの移住者には持続可能な健康増進を図ってもらう。

⑤提案

1DAY	2DAY
13:00 富士山出発(バス)	7:30 起床
14:00 文化学習	8:30 ラジオ体操
14:30 文化体験①(学び)	9:00 朝食
16:30 文化体験②(遊び)	9:30 文化学習
19:00 夕食	10:00 芦川の森探索
20:00 自由行動	11:00 文化体験③(食)
22:00 就寝	13:00 昼食
	14:30 石和温泉へ(現地解散)

インバウンド客が富士山を訪れることを前提としたインバウンド客向けの芦川村・文化体験付き宿泊ツアーを造成し、HPやSNS,旅行会社にてこのツアーの参加者を募集する。

日本文化体験①・②
NPO法人が中心となって日本文化体験を提供する。

インバウンド客には、ツアーに応募した段階で、事前に①と②ではどんな体験をしたいのか複数の項目の中から選択してもらう。

～項目(例)～

日本文化体験(学び)	日本文化体験(遊び)
・武道	・竹馬
・華道	・折り紙
・書道	・カルタ
・着物	・けん玉
・着物の着付け	・忍者体験
・日本舞踊	など
・盆栽 など	

選ばれた文化体験をするためには指導者が必要なので、NPO法人を通して地元の方にボランティアという形で募集する。

日本文化体験③
芦川村の「おてんぐさん」という既存施設を活用し食文化体験(そば打ち、ほうとう作り、地元食材をネタにした寿司握り)を行う。

～お風呂と宿泊～
芦川村には宿泊施設がないが、宿泊施設として活用できそうな古民家が多々ある。そこを通じて、古民家にて星空を見ながら五右衛門風呂を体験等をしてもらう。

また、インバウンド客の通訳は海外との繋がりを主に活動されているNPO法人にお願いするか新たに立ち上げてツアーガイド等を担当していただく。

⑥プランによる効果

★日本文化を実際に体験してもらう事で、日本の良さを知ってもらう = **インバウンド客増加**

★インバウンド客を集客することにより、芦川村が活性化と知名度向上につながる = **新規客の増加**

★古民家活用などにより地域活性化につながる = **地域創生化**

★首都圏の定年退職者の移住(古民家移住者に補助金支給)政策を実施しその人たちを中心としたNPO法人を設ける = **セカンドライフの充実**

★COHAS体験で自身の私生活を見直すきっかけとし生活習慣病の予防や健康増進につなげる = **健康に対する意識変化**